



(公社) 日本気象学会九州支部

第25回気象教室

雲・降水

～ 気象観測がとらえる雲と雨のリアル ～

2024年

12月1日  13:30-16:00

無料

福岡管区気象台 & ZOOM ※要申込

福岡管区気象台（先着20名様）、Zoom（先着300名様）

第1部

13:45～14:45（13:00～接続開始）

「EarthCARE衛星：宇宙からの雲・エアロゾル・地球放射と鉛直速度観測」

講師：岡本 創（九州大学応用力学研究所 主幹教授）



第2部

15:00～16:00

「粒子撮像ゾンデが捉えた降水粒子とそこからわかること」

講師：川野 哲也（九州大学大学院理学研究院 助教）



座長

竹村 俊彦（九州大学応用力学研究所 主幹教授）



共催：（公社）気象学会九州支部、九州大学応用力学研究所、福岡管区気象台

お問い合わせ

E-mail : info@msj-kyushu.jp

お申込み方法

ホームページ : <http://msj-kyushu.jp>

右QRコードからフォームからお申し込み



★講演者 1

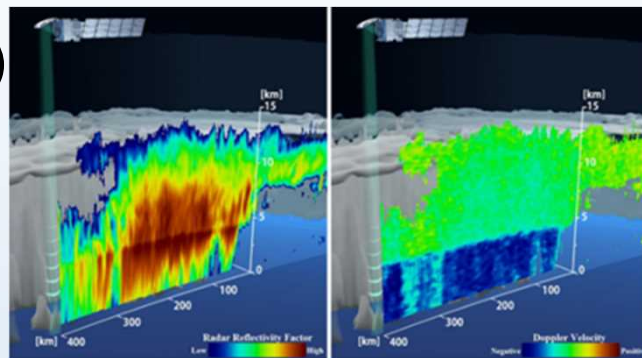
岡本 創（おかもと はじめ）

・所属・役職名

九州大学応用力学研究所・主幹教授

・講演題目

EarthCARE衛星：宇宙からの
雲・エアロゾル・地球放射と鉛直速度観測



・講演概要

日欧共同のEarthCARE衛星は、2024年5月29日に、米国のバンデンバーグ宇宙軍基地から打ち上げられました。日本の開発したドップラー雲レーダ、欧州のライダ、イメージャー、そして放射計がすべて観測を開始しています。宇宙から初めての鉛直運動が観測でき、気候変動予測や天気予報に大きな貢献をすると期待されています。

★講演者 2

川野 哲也（かわの てつや）

・所属・役職名

九州大学大学院理学研究院・助教

・講演題目

粒子撮像ゾンデが捉えた降水粒子と
そこからわかること



・講演概要

どのような過程を経て、地上に強い雨や雪が降ってくるのかを理解するためには、その雲内の微物理構造を知る必要があります。本講演では、気球取付型の粒子撮像ゾンデによる直接観測で捉えた雲内の降水粒子と、そこからわかることを紹介します。

お申し込み方法

お申し込みは、学会ホームページ (<http://msj-kyushu.jp/>) からイベント、気象教室、お申し込みフォームへ進み、参加申し込みフォームを利用してお申し込み下さい。

1. 登録フォームに必須事項を記入して登録。(締め切りは11月22日(金))
 2. 気象学会九州支部 (info@msj-kyushu.jp) からご登録頂いたメールアドレスへ11月28日までに接続に必要な情報をご連絡致します。
- ※ なお、会場へお越しの際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。